



Market Eyes No.207

「シンギュラリティ」の到来に向け ロボットやAI、IoT分野で活発化する大型M&A

大和投資信託

■ ロボットやAI、IoT分野で大型M&Aが相次ぐ

➤ ロボットやAI（人工知能）、IoT（モノのインターネット化）などの先進技術は日々著しい進化を遂げており、例えば完全自動運転は2020年までに実用化するとも言われている。新時代の到来に向け、買収や企業提携の発表が相次いでいる。

➤ これまでの買収事例においては、高い技術力を取り込むために高いプレミアム（時価に対する上乗せ額）が支払われるケースが目立つ。そして、買収発表もしくは買収観測報道日に被買収企業の株価は大幅上昇している【右の図表参照】。

■ 「AIに投資」10兆円規模の投資ファンド発足へ

➤ ソフトバンクグループの孫社長は2月8日の決算発表の席上で、サウジアラビアと計画している10兆円規模の投資ファンド（昨年10月に発表）が近く発足する見通しだと語った。このファンドを通じて世界中のAIやIoT関連企業へ投資する。また投資先としては従来のインターネットや通信だけでなく、医療などの幅広い分野へ投資すると伝えられている。

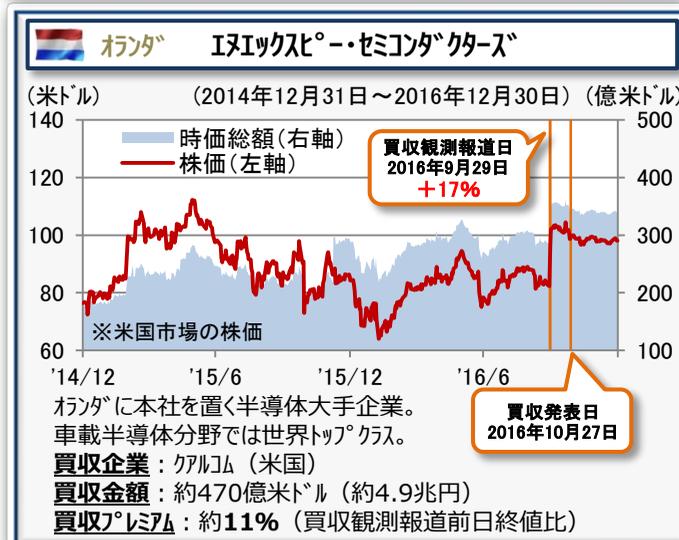
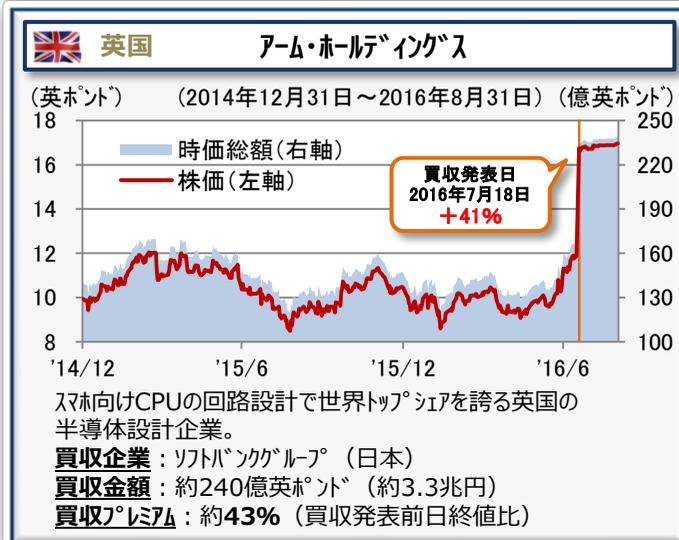
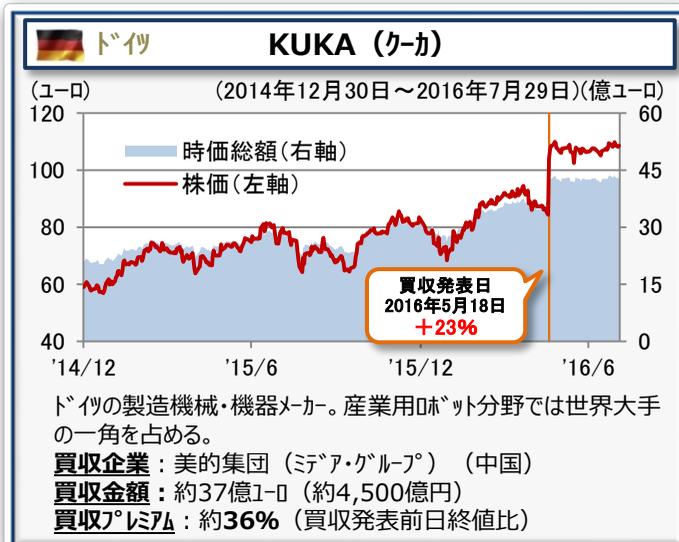
■ 近い将来AIが人類の知能を超える時代に？

➤ 孫社長が今回の投資ファンドを発足した背景には、AIが人類の知能の総和を超える「シンギュラリティ（技術的特異点）」がいずれ訪れると考えられていることがある。グーグル傘下の企業が開発したAI（アルファ碁）が世界的棋士に勝ち、IBMが開発したAI（ワトソン）がクイズ番組でチャンピオンを破ったことも、そう遠くない将来にシンギュラリティが到来することを予見させるものとなっている。

➤ シンギュラリティの到来により、ライフスタイルや産業構造が大きく変化し、そこに新たなビジネスチャンスが生まれることが予想される。

ロボットやAI、IoT分野における基幹技術の「囲い込み」に向けたM&Aは一層活発化するとともに、市場の注目度がさらに高まることが期待される。

-ロボット・IoT分野における2016年の大型M&A事例-



※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

※買収金額の円換算は、それぞれ買収発表時点の為替レート(1ユーロ=123.60円、1英ポンド=140.71円、1米ドル=105.29円)を使用しています。

※アーム・ホールディングスは2016年9月6日付けで上場廃止となっています。

(出所)ブルームバーグ、各種資料を基に大和投資信託作成
※次ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。(1/2)

投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第 37 条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お客さまにご負担いただく費用

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

直接的にご負担いただく費用

| | |
|---------|--------------------------------|
| 購入時手数料 | 料率の上限は、 3.24% (税込) です。 |
| 換金手数料 | 料率の上限は、 1.296% (税込) です。 |
| 信託財産留保額 | 料率の上限は、 0.5% です。 |

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

| | |
|---------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 費用の料率の上限は、 年率2.1816% (税込) です。 |
| その他の費用・手数料 | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。) |

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ ファンドにより異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※ 詳細につきましては、「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドのリスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- ◆ 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書 (交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- ◆ 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。